

まちのわだい



TOWN TOPICS

まちのわだい募集

【問い合わせ先】
地域再生戦略課
町づくり推進室
☎68-3113

イワナのつかみ取りに挑戦 〜大山日光清流まつり〜

日光地区恒例の「大山日光清流まつり」が、8月1日日光小学校隣の白水仙河川敷で開催されました。

今年で3回目を迎えた清流まつりの目玉は、イワナのつかみ取り。子どもたちは、白水川に放流された200匹のイワナを捕まえようと川に入り、つかみ取りに挑戦しました。川底や窪みに隠れたイワナを捕まえるのは至難のワザですが、さすがは豊かな自然の中で育った子どもたち、一度コツをつかむと、次々に見事なつかみ取りを見せてくれました。

またこの他に、音楽好きなお父さんたちが結成した「チチバンド」のミニライブやカヌー体験などが行なわれ、会場は大勢の人で賑わいました。



イワナのつかみ取りに挑戦する子どもたち

日野川のめぐみを感じながら 〜第17回きしもと鮎釣り大会〜

「きしもと鮎釣り大会」が、8月1日伯耆町役場裏の日野川土手で開催されました。この大会は、鮎釣りを通じて日野川を大切に自然を感じてもらおうと、日野川水系漁業協同組合岸本支部が毎年開催しています。

今大会は、鳥取県内外から45名が参加し、予選と決勝の2回、制限時間内に釣上げた鮎の数を競いました。参加者は竿先や手元に神経を集中させ、次々と鮎を釣上げていました。なお、この大会で釣上げられた鮎は、社会福祉協議会に寄附され、町内の福祉施設で振舞われました。



鮎を釣上げる参加者

少しでも選手になりたい 〜第30回全日本トライアスロン皆生大会〜

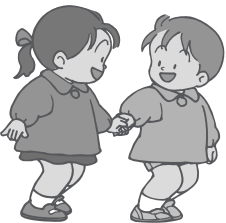
毎年恒例の鉄人レース「全日本トライアスロン皆生大会」が、7月18日に開催され自転車競技のコースとなった伯耆町では、約1000人のボランティアが選手の熱闘を支えました。

昨年の豪雨とは打って変わり、夏の太陽が照りつけた今大会。植田正治写真美術館前に設置されたエイドステーションでは、次々とやってくる選手に飲み物や果物を手渡したり、水をかけたりして選手をサポートしました。



選手に、水をかけるボランティア

人権啓発標語 入賞者発表



部落解放月間(7月10日〜8月9日)にむけて募集してました人権啓発標語に、887点の応募があり、選考委員会で、25点を優秀賞に決定しました。

入選作品は、今年11月に開催する人権同和問題実践研究交流会で表彰をするとともに、人権啓発カレンダーとして、年末に全戸配布します。たくさんのご応募ありがとうございます。

小学校(下学年)の部

こえかけて こころのわを ひろげよう
日光小一年 神庭育歩

ともだちが いやがってるよ やめようね
岸本小一年 藍田千夏

がんばれー! おうえんしよう やるきがでるよ
二部小一年 伊澤拓郎

ともだちいっぱい こころいっぱい たのしいな
八郷小一年 小司麻由佳

ありがとう 自分のことばで つたえよう
日光小二年 内藤颯一郎

あいさつは 心と心の あく手だよ
岸本小二年 細田怜花

大せつに みんなのえがおと みんなのいのち
二部小二年 三島野土夏

いじめのない学校 ぼくは大好きだ
八郷小三年 松浦央雅

がんばって にがてなことにも あきらめず
溝口小三年 門脇瑚都

えがおでね あいさつしたら 元気がでる
溝口小三年 森田綾乃

小学校(上学年)の部

悪口も 小さないじめ やめようね
日光小四年 遠藤一希

「いけないよ」 いえるゆづきと きくゆづき
岸本小四年 妹尾真実

心のきず 体のきずより つらいんだ
岸本小四年 上村侑菜

「やめようよ」 見て見ぬふりせず ゆづき出せ
八郷小四年 松原心陽

「だいじょうぶ」 その一言が 救いの手
日光小五年 亀田弘伸

一人でね なやまず言ってるね 聞くからね
二部小五年 谷口静花

考えて さっきの言葉 きずつくよ
二部小五年 伊澤京伽

手をつなぎ いじめのとびらを しめようよ!!
溝口小五年 藤川天音

中学生の部

声かけは 世界を広げる 第一歩
八郷小六年 吉野紗恵

やめようよ いじめを見ぬふり 知らんぷり
溝口小六年 橋本真之介

一瞬で えがおがきえる その言葉
岸本中二年 土井垣未来

心の窓を開いてみよう きつと何かが変わるはず
溝口中二年 舟越哲也

見つけよう 一人一人の いいところ
岸本中三年 木谷春香

みんなちがう だから素敵な この世界
溝口中三年 新出咲姫

一般の部

油断は禁物差別の芽 小さい内につみ取ろう
匿名希望

【問い合わせ先】 教育委員会事務局 人権政策室 ☎62-0713